

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日本4月機械受注)

2019/6/12

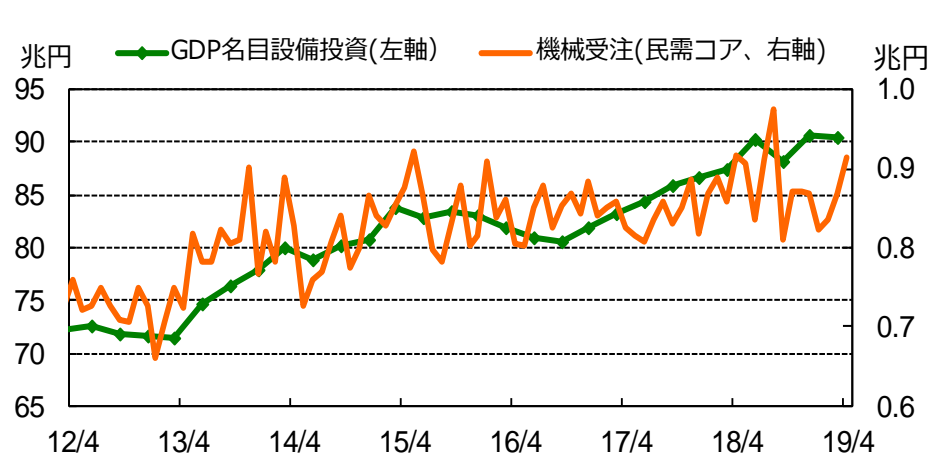
りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

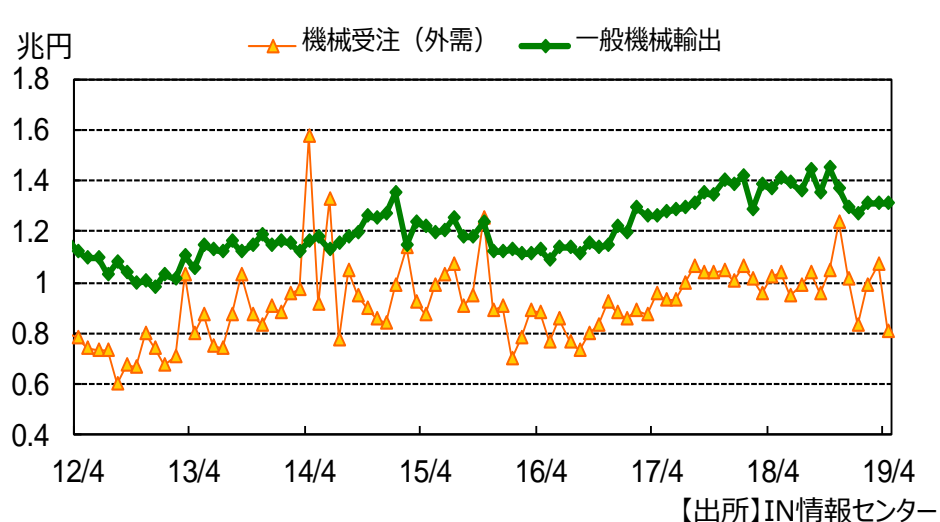
- ◆ 4月機械受注、船舶・電力を除く民需は前月比+5.2%
- ◆ 内閣府は受注判断を「持ち直しの動きがみられる」と上方修正
- ◆ 民需コアは3か月連続増加の一方、外需は大幅な減少

- ✓ 4月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間からの受注額（民需コア）は前月比+5.2%の9,137億円と、市場予想（▲0.8%）を上回った（3月+3.8%の8,688億円）。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「持ち直しの動きがみられる」と上方修正。尚、3月時点の民需コア4-6月期の受注見通しでは+15.7%と増加が見込まれている（1-3月期▲3.2%）。
- ✓ 4月の受注総額は前月比+4.3%の2兆3,520億円（3月▲4.3%の2兆2,542億円）。
- ✓ 製造業は+16.3%の4,001億円（3月▲11.4%の3,440億円）と増加。業種別では17業種中9業種が増加。造船業、その他輸送用機械器具、食品製造業などが増加。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は+1.2%の5,176億円（3月+13.4%の5,117億円）と増加。非製造業全体の業種別では12業種中8業種が増加。不動産業、情報サービス業、卸売業・小売業などが増加。
- ✓ 官公需は+93.4%の2,946億円（3月▲37.7%の1,523億円）と増加。地方公務、防衛省等が増加。
- ✓ 外需は▲24.7%の8,083億円（3月+9.0%の1兆734億円）と減少。航空機、鉄道車両等が減少。
- ✓ 代理店経由は+4.4%の1,310億円（3月+7.6%の1,255億円）と増加。産業機械、道路車両等が増加。
- ✓ 民需コアは3か月連続で前月比増加し機械受注の底堅さが確認された一方、中国中心の海外需要の弱さを背景に外需は大幅な減少となった。

【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。